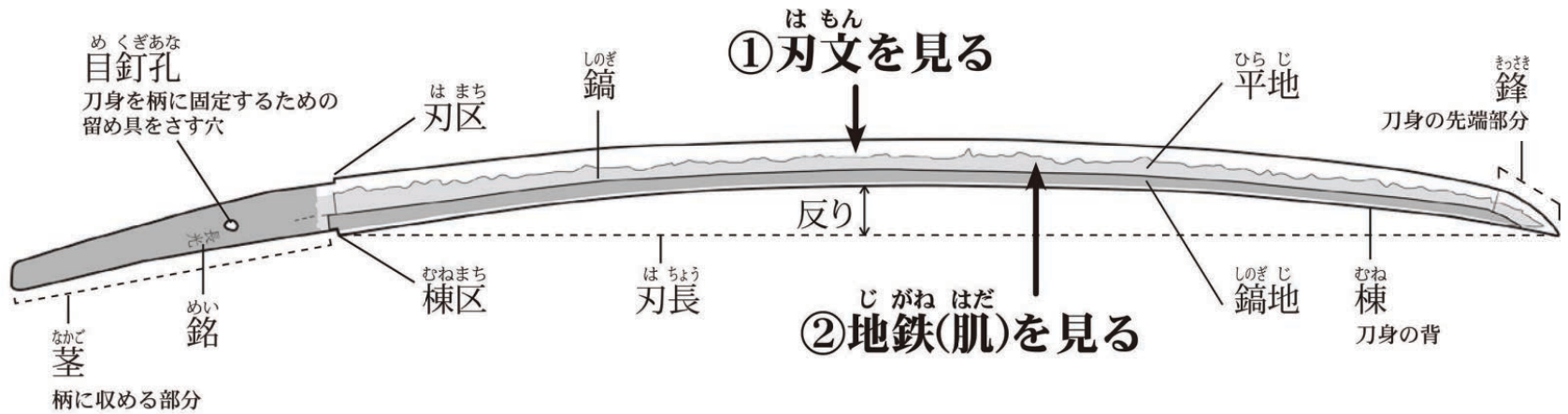


日本刀 鑑賞ポイント



①刃文の種類

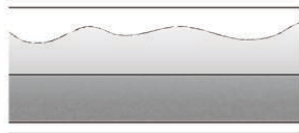
焼き入れの技術によって現れる線状の模様で、様々な形があります。刃文は刀剣を鑑賞する際の見どころのひとつで、作者や流派を判断する要素のひとつとされています。

直刃 直線的な刃文

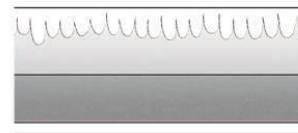


純粋な直刃はほとんどなく、わずかに湾れ、乱刃の要素がまじることが多い。

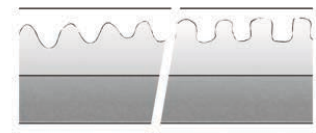
乱刃 曲線的な刃文



湾れ
広い範囲でゆったりと波打つ刃文。この中に丁子や互の目などが現れることもある。



丁子
小さな□字が連続して並ぶ刃文。丁子の蕾に似ていることからその名がある。



互の目
半円や山形などの突起が互い違いに連なる刃文。

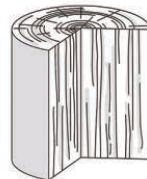
②肌の種類

鍛錬で鉄が折り返されたり、焼き入れをすることなどで地鉄とよばれる黒い部分に現れる模様。木の断面に見た目に似ていることから木材用語が流用されています。作られた時代や地域を判断する材料にもなります。

杢目



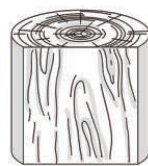
ほぼまっすぐな線が平行している。



板目



不規則な山や波のような模様。最も多くみられる。



柁目



同心円状のような模様。

